

セッションA「制度・連携」

15:00~16:00

座長：川島 孝一郎（仙台往診クリニック）

A-1 島田市医師会在宅医療体制整備、推進事業計画について

○レシャード カレッド¹⁾²⁾、片岡 英樹¹⁾、廣瀬 光¹⁾

¹⁾島田市医師会、²⁾医療法人社団健社会 レシャード医院

A-2 多職種の視点を反映した「在宅医療に関する課題」の抽出と概念化

○天野 博、中里 和弘、片山 史絵、丹野 直子、川越 正平

あおぞら診療所

A-3 急性期病院の役割と課題ーがん総合相談ケアセンターの取り組みー

○青山 百合枝¹⁾、櫃本 真聿¹⁾、小手川 雄一¹⁾、塩見 美幸¹⁾、大西 真由美¹⁾、佐伯 友子¹⁾、市川 愛¹⁾、田淵 典子²⁾

¹⁾愛媛大学医学部附属病院 医療福祉支援センター、²⁾愛媛大学医学部附属病院 看護部

A-4 在宅医療推進に向けた急性期病院の取り組み

ー在宅医療の現状把握とITを用いた医療連携のニーズ調査ー

○小手川 雄一、青山 百合枝、櫃本 真聿

愛媛大学医学部附属病院 医療福祉支援センター

A-5 中山間地域の在宅医療における医療費公費負担制度利用の実態調査

ー身体障害者手帳所持者の制度利用が落ちやすい傾向ー

○長谷田 真帆¹⁾、小松 裕和²⁾、長 純一¹⁾、長谷川 陽一²⁾、渡辺 周介²⁾、由井 和也³⁾、藤井 博之²⁾

¹⁾佐久総合病院付属小海診療所、²⁾佐久総合病院 地域ケア科、³⁾佐久総合病院 小海分院

セッションB「制度・連携」

15:00~16:00

座長：森 清（村山大和診療所）

B-1 高齢者の在宅療養支援におけるカンファランス実施状況の検討

○大島 浩子¹⁾、中村 孔美²⁾、松本 明美²⁾、膽畑 敦子²⁾、尾崎 充世²⁾、原田 敦³⁾、鈴木 隆雄⁴⁾

(独)国立長寿医療研究センター ¹⁾在宅医療・自立支援開発部 ²⁾南3病棟 ³⁾整形外科 ⁴⁾研究所

B-2 電話インタビュー調査に基づく診療連携システムの類型化

○川越 正平¹⁾、廣岡 佳代²⁾、白髭 豊³⁾

¹⁾あおぞら診療所、²⁾聖路加看護大学 看護実践開発研究センター、³⁾白髭内科医院

B-3 在宅医療における病院医療の役割

ー地域ケア科在宅登録患者予後調査(population-based retrospective cohort study)ー

○小松 裕和、北澤 彰浩、朔 哲洋

JA長野厚生連佐久総合病院

B-4 地元密着型 医療・介護交流・連携研修会の試み(2)

○山口 竜司¹⁾、奥原 信之²⁾³⁾、佐川 秋雄⁴⁾

¹⁾山口診療所、²⁾河内長野市医師会 ケアプランセンター、

³⁾花水木会(河内長野市ケアマネジャー自主勉強会)、⁴⁾大阪南医療センター 栄養管理室

B-5 「在宅での生活」を在宅側から病院へ伝えること

○内山 絵理、紅谷 浩之

オレンジホームケアクリニック(福井市)

セッションC「制度・連携」

15:00~16:00

座長：石垣 泰則(医療法人社団泰平会 理事長)

C-1 はじめの一步ー地域ケア社会を目指してー

○桑原 直行¹⁾、市原 利晃²⁾、鈴木 嘉彦³⁾、神永 洋彰⁴⁾、川井 真⁵⁾、金山 秋男⁶⁾

¹⁾秋田組合総合病院／秋田在宅医療クリニック、²⁾秋田往診クリニック、³⁾きららアーバンパレス、

⁴⁾秋田大学 医学部、⁵⁾JA共済総合研究所、⁶⁾明治大学 死生学研究所

C-2 家族を含めた多職種介入による、在宅療養支援へ導いた事例

○今泉 良典¹⁾、金子 康彦¹⁾、中村 麻衣子¹⁾、鈴木 笑美子¹⁾、若松 俊孝¹⁾、田中 誠也²⁾、
鈴木 葉子²⁾、三浦 久幸³⁾

独立行政法人 国立長寿医療研究センター ¹⁾栄養管理部 ²⁾もの忘れセンター ³⁾在宅医療支援診療部

C-3 在宅医療を支援する病棟における自宅退院できなかった患者の特性の検討

○中村 孔美¹⁾、膽畑 敦子¹⁾、尾崎 充世¹⁾、大島 浩子²⁾

(独)国立長寿医療研究センター ¹⁾南3病棟 ²⁾在宅医療・自立支援開発部

C-4 在宅療養患者のよりスムーズな退院へ向けての取り組み

○澤田 いづみ

ファミリークリニック仁和診療所

C-5 多職種との連携により身体障害者手帳を早期に取得できた一例

ー「家で風呂に入りたい」という末期がん患者の希望が契機にー

○山本 正大¹⁾、岡林 令子²⁾、米谷 浩子¹⁾、柳谷 幸枝¹⁾

医療法人社団静和会 ¹⁾訪問看護ステーション「ことに」 ²⁾静和ケアプランセンター

セッションD「制度・連携」

15:00~16:00

座長：奥山 尚（奥山内科クリニック）

D-1 医療と介護の連携 ケアマネジャーの感じている困難感とはー

○片山 史絵、中里 和弘、丹野 直子、天野 博、川越 正平
あおぞら診療所

D-2 ケアマネタイム作成による医師とケアマネジャーの連携促進

○丹野 直子、中里 和弘、天野 博、片山 史絵、川越 正平
医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所

D-3 連携を円滑にする為の介護支援専門員の教育

ー独自の医療相談用チェックシートを通してー

○堀 心一、渡邊 浩司、岩尾 聡士
名古屋大学大学院 経済学研究科 社会福祉経済学寄附講座（アイカ工業）

D-4 在宅医との情報共有に関するケアマネージャの意識調査

○外山 哲也¹⁾、木村 琢磨¹⁾、今永 光彦¹⁾、秋葉 涼子¹⁾、寛 孝太郎¹⁾、斎藤 康洋²⁾
¹⁾国立病院機構東埼玉病院 総合診療科、²⁾青い鳥会 上田クリニック

セッションE「制度・連携」

15:00~16:00

座長：木下 朋雄（医療法人社団曙光会 コンフォガーデンクリニック 院長）

E-1 介護支援専門員（ケアマネジャー）の養成に関する諸問題と提言

ー介護支援専門員実務研修受講試験及び実務研修を体験してー

○星野 将隆
船橋総合病院 神経内科

E-2 楽しい施設生活を送るために。

○鶴谷 理栄¹⁾、神永 洋彰¹⁾、長谷川 諒¹⁾、渡部 健¹⁾、長谷川 仁志²⁾、市原 利晃³⁾、高橋 彩子⁴⁾、
桑原 直行⁵⁾
¹⁾秋田大学医学部3年、²⁾秋田大学医学部 地域医療推進学講座、³⁾秋田往診クリニック、
⁴⁾きららアーバンパレス、⁵⁾秋田組合総合病院／秋田在宅医療クリニック

E-3 愛知県春日井市での医療看護介護連携への取り組み報告

○堀 心一¹⁾、渡邊 浩司¹⁾、長縄 岳康²⁾、岩尾 聡士¹⁾
¹⁾名古屋大学大学院 経済学研究科 社会福祉経済学寄附講座（アイカ工業）、
²⁾春日井市健康福祉部 介護保険課

E-4 医療・介護スタッフおよび参加住民アンケートから考えるナイトスクールの現状と課題

○河野 恵美子¹⁾、小泉 健²⁾、五十嵐 夏恵¹⁾、清野 洋¹⁾、原 勝人¹⁾、吉嶺 文俊¹⁾、阿部 昌洋³⁾、
井口 清太郎⁴⁾、鈴木 栄一⁵⁾
¹⁾新潟県立津川病院 内科、²⁾新潟大学 第二内科、³⁾阿賀町診療所、⁴⁾新潟大学 総合地域医療学講座、
⁵⁾新潟大学 総合診療部

セッションF「診断・治療」

15:00～16:00

座長：田城 孝雄（順天堂大学スポーツ健康科学部 健康学科 教授）

- F-1** 在宅における末梢挿入中心静脈カテーテル(PICC)挿入時のエコーの有用性について
○久保 雅弘、横溝 智、布尾 啓明、北野 和代
さくらホームケアクリニック
- F-2** 在宅における腎瘻カテーテル交換の際、routineにポケット超音波装置Vscanを利用している二例
○鈴木 全¹⁾、曾我 幸弘¹⁾、泰川 恵吾¹⁾、栗原 大輔²⁾、久島 和洋²⁾、今井 一登³⁾
¹⁾鳥伝白川会 ドクターゴン診療所、²⁾ドクターゴン鎌倉診療所、³⁾鎌倉常盤クリニック
- F-3** 超音波検査による胃瘻カテーテル留置位置確認法ー左肋骨弓下走査によるアプローチー
○泰川 恵吾¹⁾、鈴木 全¹⁾、栗原 大輔²⁾、久島 和洋²⁾、今井 一登³⁾、曾我 幸弘¹⁾
¹⁾ドクターゴン診療所、²⁾ドクターゴン鎌倉診療所、³⁾鎌倉常盤クリニック
- F-4** 胃瘻カテーテル交換時における胃瘻用内視鏡使用の有用性について
○久保 雅弘、布尾 啓明、横溝 智、北野 和代
さくらホームケアクリニック
- F-5** 当院における在宅超音波検査の経験
○岡田 豊、中村 幸伸
つばさクリニック

セッションG「診断・治療」

15:00～16:00

座長：田村 学（おおさか往診クリニック 院長）

- G-1** 訪問診療における末梢挿入型中心静脈カテーテルの使用経験
～鎖骨下-腋窩静脈留置と超音波による先端位置確認～
○宮崎 真吾
網島ホームケアクリニック
- G-2** 在宅漢方 慢性心不全への真武湯の応用
○山口 竜司、山口 誓子
山口診療所
- G-3** 食道癌腫瘍穿孔によるステント留置後の終末期症例に対して、臭化水素酸スコポリン(®ハイスコ)注の舌下投与法が、高用量モルヒネ塩酸塩持続静注の用量調整に有用であった一例
○平田 剛史¹⁾³⁾、関 有香子¹⁾、山田 義也¹⁾、田實 武弥¹⁾、酒井 忠昭¹⁾、里井 重仁¹⁾、白戸 あゆみ¹⁾、大石 愛¹⁾、遠藤 拓郎¹⁾、栗原 理¹⁾、伴 浩和¹⁾、林 哲郎¹⁾、市川 敦央¹⁾、森川 日出男¹⁾、石川 和利²⁾、遠矢 純一郎²⁾、畠中 正孝¹⁾、池田 徳彦³⁾
¹⁾医療法人社団プラタナス 松原アーバンクリニック、²⁾松原アーバンクリニック 施設在宅医療部、³⁾東京医科大学 外科学第1講座

G-4 モルヒネ・オクトレオチド持続皮下注射にて長期在宅症状管理が可能であった2例

○青木 拓也、服部 ゆかり、佐藤 将之、中野 泰、宮森 正、吉岡 恵、蔦沢 朋未、仁藤 紀子、大井 富美子

川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター

G-5 在宅における持続硬膜外ブロックが奏効した難治性癌性疼痛の1例

○久保 雅弘、横溝 智、布尾 啓明、北野 和代

さくらホームケアクリニック

セッションH「診断・治療」

15 : 00～16 : 00

座長：藤田 拓司（医療法人拓海会 神経内科クリニック）

H-2 在宅NPPV呼吸ケアの実際 ～いかに安定した在宅療養を実現させるか？

○武知 由佳子

医療法人社団愛友会 いきいきクリニック

H-3 在宅での肺炎診療におけるPSI（Pneumonia Severity Index）の有用性

○石橋 史明¹⁾、春原 光宏²⁾³⁾、川越 正平²⁾

¹⁾草加市立病院、²⁾あおぞら診療所上本郷、³⁾東京大学医学部附属病院

H-4 在宅人工呼吸療法導入における退院支援 ―臨床工学技士の立場から―

○十河 匡光¹⁾、秋元 郁美¹⁾、室井 純一¹⁾、宮崎 照子²⁾、大原 千知³⁾、崎尾 浩由³⁾

大田原赤十字病院 ¹⁾医療技術部 臨床工学技士 ²⁾訪問看護ステーション ³⁾内科

セッションI「診断・治療」

15 : 00～16 : 00

座長：小野 宏志（坂の上ファミリークリニック）

I-2 在宅にて訪問リハビリテーションを利用されている方の日常生活動作能力と健康関連QOLの関係（経過報告）～SF-8を用いて～

○村上 茂雄、永井 康德、矢野 博文、松崎 美和

医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック

I-3 当クリニックにおける訪問リハビリテーション効果の検討

○山本 真彩子、早田 妙子、田中 裕次、布尾 啓明、向原 進一

向原クリニック

I-4 在宅医療環境におけるATPふき取り検査を用いた清浄度調査と清浄度に関連する因子の検討について

○松尾 兼幸¹⁾、松尾 紘秀²⁾

¹⁾松尾けんこうクリニック、²⁾松尾歯科医院

セッションJ「災害対応」

15 : 00～16 : 00

座長：小野沢 滋（亀田総合病院 在宅医療事業部）

J-1 災害訓練：在宅医療機関と急性期病院との連携

○小野原 智美¹⁾、森 清²⁾

社会医療法人大和会・在宅サポートセンター ¹⁾東大和訪問看護ステーション ²⁾村山大和診療所

J-2 在宅人工呼吸器患者と共に、いかに自然災害に備えるか？

～東日本大震災後の対応を振り返る～

○武知 由佳子

医療法人社団愛友会 いきいきクリニック

J-3 在宅巡回療養支援の活動報告 ～栄養士によるショートステイベース(SSB)支援～

○松井 欣也¹⁾、金本 郁美²⁾、中井 雄子²⁾

¹⁾独立行政法人国立病院機構 東京都病院 診療部 内科 栄養管理室 栄養管理室長、

²⁾独立行政法人国立病院機構 兵庫青野原病院

J-4 大規模災害時における在宅医療の危機管理

○西崎 久純¹⁾、川島 久佳¹⁾、佐々木 潔子¹⁾、仲田 勲生¹⁾、川島 孝一郎¹⁾²⁾

¹⁾仙台往診クリニック、²⁾東北大学医学部 臨床教授

セッションK「在宅診療の現状」

8:00~9:00

座長：一戸 由美子(医療財団法人 河北総合病院)

K-1 当診療所から訪問診療を受けている独居生活者の解析

○姫野 美穂子、清水 静江、細田 直美、森 清
社会医療法人大和会・在宅サポートセンター 村山大和診療所

K-2 当診療所における主介護者別状況解析

○清水 静江、森 清
社会医療法人大和会・在宅サポートセンター 村山大和診療所

K-3 神戸市西区における在宅医療の現状

○向原 進一、山本 真彩子、田中 裕次、早田 妙子、布尾 啓明
向原クリニック

K-4 褥瘡に対する皮膚科訪問診療の現状からみた褥瘡地域連携システムの必要性

○高橋 佳子¹⁾、米田 雅彦²⁾、尾之内 博規³⁾、古田 勝経⁴⁾、三浦 久幸⁴⁾、磯貝 善蔵⁴⁾
¹⁾愛知県立大学大学院 看護学研究科、²⁾愛知県立大学 看護学部、³⁾知多市、⁴⁾国立長寿医療研究センター

K-5 長崎県各市町における三大死因死亡率の推移ー2004~2008年の衛生統計年報からー

○井上 高博、山口 善子、竹末 加奈、増田 容子
活水女子大学 看護学部

セッションL「在宅診療の現状」

8:00~9:00

座長：鈴木 央(鈴木内科医院)

L-1 当診療所から訪問診療を経験した血液疾患12例の解析

○岩城 裕子、森 清
社会医療法人大和会・在宅サポートセンター 村山大和診療所

L-2 当院訪問診療患者の入院について

○三井 いずみ
甲府共立病院 内科

L-3 在宅療養支援診療所における在宅療養患者の緊急入院についてのコホート分析

○大友 宣¹⁾、金井 稔¹⁾、水谷 隆史²⁾
¹⁾湘南国際村クリニック 医師、²⁾南永田診療所 医師

L-4 当院における訪問診療が中止となった症例の検討ー一時的な訪問診療の役割とは?ー

○今永 光彦、木村 琢磨、寛 孝太郎、外山 哲也、秋葉 涼子
国立病院機構東埼玉病院 総合診療科

セッションM「在宅診療の現状」

8:00～9:00

座長：平原 佐斗司（東京ふれあい医療生協 梶原診療所 在宅事業部）

M-1 在宅患者に対する予防接種の安全性と患者の予防接種に対する考え方と認知度調査

○佐藤 将之、中野 泰、青木 拓也、服部 ゆかり、石黒 浩史、大井 富美子、仁藤 紀子、
葛澤 朋未、吉岡 恵、宮森 正
川崎市立井田病院 ケアセンター

M-2 滞在時間から見た、訪問診療における満足度の調査および、業務量評価について

○重成 憲爾、藤本 壮之
姫路医療生活協同組合 共立病院

M-3 居宅サービスにおける心疾患患者に対する意識調査

○諸富 伸夫¹⁾、水間 正澄²⁾
¹⁾公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院 心臓リハビリテーション室、
²⁾昭和大学医学部 リハビリテーション医学教室

M-4 ナースのお仕事

～当在宅支援診療所での業務を振り返り、今後の支援に繋げる～

○川津 有紀、福田 まゆみ、山口 幸子、俵積田 瞳、京極 新治、京極 幸司、仁科 恭子
医療法人小さな診療所

セッションN「在宅診療の現状」

8:00～9:00

座長：藤田 拓司（医療法人拓海会 神経内科クリニック）

N-1 当院における「銀行自動引き落とし」制度開始の経験

○細田 直美、森 清
社会医療法人大和会・在宅サポートセンター 村山大和診療所

N-2 在宅医療支援病棟を中心とした新たな在宅医支援方法 ～医療機器・衛生材料サプライセンター開設に関する中間報告～

○洪 英在¹⁾、三浦 久幸²⁾
¹⁾国立長寿医療研究センター 高齢者総合診療科、²⁾国立長寿医療研究センター 在宅医療支援診療部

N-3 iPadを利用した、ケアの手技品質の均一化の試み

○西出 真悟、紅谷 浩之
オレンジホームケアクリニック（福井市）

N-4 小児を診る在宅診療所でのレスパイトケア：重症小児の預かりを開始して

○京極 新治¹⁾、福田 まゆみ¹⁾、川津 有紀¹⁾、俵積田 瞳¹⁾、山口 幸子¹⁾、濱田 裕子²⁾
¹⁾医療法人小さな診療所、²⁾九州大学大学院 保健学部門 小児家族看護学

セッションO「歯科診療・口腔ケア・栄養」

8:00～9:00

座長：原 龍馬（原歯科医院）

O-1 在宅療養中の患者における口腔衛生手技に関する調査

～マネジメント導入時の意識と遵守の関係～

○井階 友貴¹⁾²⁾、日下 幸則³⁾、藤沼 康樹⁴⁾、松島 雅人⁵⁾、羽山 貞宏¹⁾、林 寛之⁶⁾、寺澤 秀一⁷⁾

¹⁾福井大学医学部 地域プライマリケア講座、²⁾高浜町国民健康保険和田診療所、

³⁾福井大学医学部 国際社会医学講座 環境保健学領域、⁴⁾日生協医療部会 家庭医療学開発センター、

⁵⁾東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究室、

⁶⁾福井大学医学部附属病院 救急総合診療部、⁷⁾福井大学医学部 地域医療推進講座

O-2 歯科衛生士の医師訪問診療同行による医科歯科連携促進

○山口 朱見、川越 正平

あおぞら診療所

O-3 医科歯科連携報告：訪問歯科診療が臨床に及ぼした効果

○黒川 昭彦¹⁾、川越 正平²⁾、山口 朱見²⁾

¹⁾千葉県松戸歯科医師会、²⁾あおぞら診療所

O-4 急性期病院歯科口腔外科における嚥下診療の必要性 ―病診連携を目指して―

○高井 英月子¹⁾、野原 幹司²⁾、佐藤 耕一¹⁾、阪井 丘芳³⁾

¹⁾恩賜財団社会福祉法人済生会 松阪総合病院 歯科口腔外科、²⁾大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部、

³⁾大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座

セッションP「歯科診療・口腔ケア・栄養」

8:00～9:00

座長：茅根 義和（東芝病院 緩和ケア科）

P-1 在宅療養支援として嚥下食等の調理指導の実施に向けた試み

○金子 康彦¹⁾、今泉 良典¹⁾、中村 麻衣子¹⁾、鈴木 笑美子¹⁾、若松 俊孝¹⁾、三浦 久幸²⁾

独立行政法人国立長寿医療研究センター ¹⁾栄養管理部 ²⁾在宅医療支援診療部

P-2 お金がかかって大変！という声に応えて考案した、耐糖能異常に有効な経管用アレンジ栄養剤を試した症例

○遠藤 美紀¹⁾、西崎 久純²⁾、佐々木 潔子²⁾、川島 久佳²⁾

¹⁾仙台往診クリニック 看護師、²⁾仙台往診クリニック 医師

P-3 施設入所高齢者の口腔ケア実施によるリスク管理調査

○金子 信子¹⁾、野原 幹司²⁾、松野 頌平²⁾、石川 朗³⁾、萬田 浩一¹⁾、光山 誠⁴⁾

¹⁾まんだ歯科医院、²⁾大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部、³⁾神戸大学大学院 保健学研究科、

⁴⁾医療法人敬英会

P-4 在宅症例における嚥下診療の必要性

○小谷 泰子¹⁾²⁾、野原 幹司²⁾、橋爪 聖子¹⁾、高井 英月子³⁾、阪井 丘芳²⁾

¹⁾医療法人美和会 平成歯科クリニック、²⁾大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部、

³⁾済生会 松阪総合病院 歯科口腔外科

セッションQ「歯科診療・口腔ケア・栄養」

8:00~9:00

座長：山路 義生

(医療法人社団友志会 在宅療養支援診療所ライフケア・クリニック 希望 院長)

Q-1 食べることは、生きること。

○神永 洋彰¹⁾、鶴谷 理栄¹⁾、長谷川 諒¹⁾、渡部 健¹⁾、長谷川 仁志²⁾、市原 利晃³⁾、高橋 彩子⁴⁾、桑原 直行⁵⁾

¹⁾秋田大学医学部3年、²⁾秋田大学医学部 地域医療推進学講座、³⁾秋田往診クリニック、

⁴⁾きららアーバンパレス、⁵⁾秋田組合総合病院／秋田在宅医療クリニック

Q-2 地域基幹病院における胃瘻造設患者の予後調査(悉皆調査)

○渡邊 周介¹⁾、小松 裕和¹⁾、由井 和也²⁾、藤井 博之¹⁾、長谷田 真帆³⁾、長谷川 陽一¹⁾

¹⁾佐久総合病院 地域ケア科、²⁾佐久総合病院 小海分院、³⁾佐久総合病院 小海診療所

Q-3 誤嚥防止手術施行後のQOLについて～アンケートによる調査～

○二藤 隆春

東京大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

セッションR「終末期ケア・看取り」

8:00~9:00

座長：井手 宏(愛知国際病院)

R-1 当診療所で経験した訪問開始後74時間以内に亡なられた24例の解析

○豊原 道枝、森 清

社会医療法人大和会・在宅サポートセンター 村山大和診療所

R-2 看取り場所が病院になった症例の検討

○大原 宏夫、土屋 久美子、菊地 佳奈

(財)脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 在宅医療センター

R-3 家族構成が在宅での看取りに与える影響

○杉本 由佳

すぎもと在宅医療クリニック

R-4 看取り目的で紹介され訪問診療導入となったが非終末期であった三例

○木村 琢磨、今永 光彦、笥 孝太郎、外山 哲也、秋葉 涼子

国立病院機構東埼玉病院 総合診療科

セッションS「終末期ケア・看取り」

8 : 00～9 : 00

座長：今村 昌幹（沖縄県立八重山病院 医療部長）

S-1 在宅での死亡診断に対する訪問看護師の関与について

○齋藤 信也

岡山大学大学院 保健学研究科

S-2 在宅看取り可能予測因子としての在宅介護スコアの活用と検討

○佐藤 将之、中野 泰、青木 拓也、服部 ゆかり、石黒 浩史、大井 富美子、仁藤 紀子、
蔦澤 朋未、吉岡 恵、宮森 正

川崎市立井田病院 総合ケアセンター

S-3 介護施設における看取りへの支援 ～緩和ケア医師の役割～

○大井 裕子

聖ヨハネ会 桜町病院 聖ヨハネホスピス

S-4 保険薬剤師の在宅緩和ケアにおける活動について

○古谷 篤子¹⁾、斉藤 綾佳¹⁾、田村 昭¹⁾、佐々木 敬美¹⁾、土井 真喜¹⁾、川添 利幸¹⁾、水野 芳宏²⁾、
井野 千枝子²⁾

¹⁾(株)コムファ なの花薬局、²⁾(株)コムファ 事業部